

予算委員会

委員一覧 (45名)

委員長	溝手 顕正 (自民)	大久保 潔重 (民主)	岩城 光英 (自民)
理事	尾立 源幸 (民主)	川合 孝典 (民主)	木村 仁 (自民)
理事	津田 弥太郎 (民主)	櫻井 充 (民主)	北川 イッセイ (自民)
理事	羽田 雄一郎 (民主)	自見 庄三郎 (民主)	佐藤 信秋 (自民)
理事	水岡 俊一 (民主)	辻 泰弘 (民主)	関口 昌一 (自民)
理事	森 ゆうこ (民主)	友近 聡朗 (民主)	南野 知恵子 (自民)
理事	岩永 浩美 (自民)	内藤 正光 (民主)	林 芳正 (自民)
理事	坂本 由紀子 (自民)	中谷 智司 (民主)	山田 俊男 (自民)
理事	鶴保 庸介 (自民)	平野 達男 (民主)	山本 一太 (自民)
理事	荒木 清寛 (公明)	福山 哲郎 (民主)	加藤 修一 (公明)
	相原 久美子 (民主)	藤原 良信 (民主)	草川 昭三 (公明)
	浅尾 慶一郎 (民主)	森田 高 (民主)	澤 雄二 (公明)
	石井 一 (民主)	米長 晴信 (民主)	大門 実紀史 (共産)
	植松 恵美子 (民主)	泉 信也 (自民)	福島 みずほ (社民)
	大石 尚子 (民主)	市川 一朗 (自民)	荒井 広幸 (改ク)

(20.10.2 現在)

(1) 審議概観

第170回国会において、本委員会に付託された案件は、平成二十年度補正予算3案であり、可決した。また、予算の執行状況に関する調査を行った。

なお、本委員会に付託された請願はなかった。

〔予算の審査〕

平成二十年度補正予算 平成二十年度補正予算3案は、9月29日、国会に提出され、10月16日に成立した。

予算委員会では、衆議院からの送付を待って、10月9日、中川財務大臣から趣旨説明を聴取した後、14日、15日及び16日に麻生内閣総理大臣及び関係各大臣に対し、質疑を行い、多数をもって可決した。

主な質疑は以下のとおりである。まず、「衆議院の解散・総選挙について、どう考えている

のか。ただちに解散すべきではないか」との質疑があり、これに対し、麻生内閣総理大臣より、「今、特に、中小企業の資金繰りが大変厳しい状況にあり、世論調査でも、解散より、景気対策を求める声が強く、まずは景気対策を優先すべきと考えている。解散については、いずれ争点を明らかにして国民に信を問う方針に変わりはなく、その時期は、総理である私が決める」旨の答弁が行われた。

また、経済問題について、「米国の金融危機についてどう認識しているか。我が国への影響、今後の対応はどうか」との質疑があり、これに対し、麻生内閣総理大臣及び関係各大臣より、「近年、低金利の下、世界的に余剰資金が生まれ、サブプライム関連商品などが大幅に増加した。しかし、平成19年8月以降、その問題が顕在化し、今回、米国に端を発した金融危機の影響が、諸外国へ広がることと

なった。日本でも、1990年代に不動産・株のバブル崩壊を経験し、当時、我が国は一国で、苦しみながら難局を乗り切ってきたが、今回は、世界的な金融危機の連鎖が生じており、これを遮断するため、諸外国がいっせいに対応していくことが必要な状況となっている。現在、日本の金融システムは、健全な状況にあると見られるが、緊急総合対策の決定以後に、金融情勢が大きく変化している。实体经济への影響等を踏まえつつ、緊急対策の速やかな実施とともに、金融機能強化法の復活や新たな経済対策の検討なども含め、しっかりとした対応を講じていきたい」旨の答弁があった。

質疑はこのほか、北朝鮮拉致問題、公務員制度改革、特別会計の積立金、年金問題、高齢者医療制度の見直し、がん対策、非正規雇用問題、汚染米及び食の安全問題、中小企業対策、消費者行政、エネルギー問題

等について質疑が行われた。

〔国政調査等〕

予算の執行状況に関する調査として、以下のとおり、予算委員会が開かれた。

12月10日、経済・社会保障に関する件について、政府に対する集中審議が行われた。質疑では、衆議院解散の必要性、世界的金融危機の現状と対応、第2次補正予算提出の必要性、定額給付金の経済効果、社会保障費の抑制方針、厚生年金保険料の滞納問題、障害者施策、ドクターヘリの配備、派遣労働者問題、内定取消しの実態と対応策、学校施設の耐震化、住宅関連税制、WTO農業交渉、中小企業対策、マルチ商法問題、自治体病院の経営支援、日中韓通貨のスワップ、新型地方交付税の創設等の問題が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○平成20年10月2日(木)(第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。

○平成20年10月9日(木)(第2回)

- 平成二十年度一般会計補正予算(第1号)(衆議院送付)
平成二十年度特別会計補正予算(特第1号)(衆議院送付)
平成二十年度政府関係機関補正予算(機第1号)(衆議院送付)
- 以上3案について中川財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成20年10月14日(火)(第3回)

- 総括質疑 —
- 政府参考人の出席を定めることを決定した。
- 参考人の出席を定めることを決定した。
- 平成二十年度一般会計補正予算(第1号)(衆

議院送付)

平成二十年度特別会計補正予算(特第1号)
(衆議院送付)

平成二十年度政府関係機関補正予算(機第1号)(衆議院送付)

以上3案について麻生内閣総理大臣、中曽根外務大臣、河村国務大臣、中川国務大臣、鳩山総務大臣、石破農林水産大臣、二階経済産業大臣、浜田防衛大臣、舛添厚生労働大臣、甘利国務大臣、塩谷文部科学大臣、与謝野内閣府特命担当大臣、平田財務副大臣、谷人事院総裁、政府参考人及び参考人日本銀行副総裁西村清彦君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

吉村剛太郎君(自民)、※衛藤晟一君(自民)、※鶴保庸介君(自民)、直嶋正行君(民主) ※関連質疑

○平成20年10月15日（水）（第4回）

— 総括質疑 —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）
平成二十年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）
平成二十年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について麻生内閣総理大臣、舛添厚生労働大臣、与謝野内閣府特命担当大臣、斉藤環境大臣、中川国務大臣、石破農林水産大臣、佐藤国家公安委員会委員長、河村内閣官房長官、甘利国務大臣、鳩山総務大臣、塩谷文部科学大臣、二階経済産業大臣、浜田防衛大臣、宮崎内閣法制局長官、政府参考人、参考人日本放送協会副会長今井義典君、日本銀行総裁白川方明君及び日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長西川善文君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

※福山哲郎君（民主）、※羽田雄一郎君（民主）、※石井一君（民主）、山口那津男君（公明）、※松あきら君（公明）、小池晃君（共産）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改ク） ※関連質疑

○平成20年10月16日（木）（第5回）

— 締めくくり質疑 —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）
平成二十年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）
平成二十年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について麻生内閣総理大臣、舛添厚生労働大臣、森法務大臣、塩谷文部科学大臣、中川国務大臣、与謝野内閣府特命担当大臣、鳩山総務大臣、野田国務大臣、二階経済産業大臣、政府参考人、参考人独立行政法人国民生活センター理事田口義明君及び日本郵政株式会社常務執行役伊東敏朗君に対し質疑を

行った後、いずれも可決した。

〔質疑者〕

水岡俊一君（民主）、※大塚耕平君（民主）、森まさこ君（自民）、蓮舫君（民主）、加藤修一君（公明）、大門実紀史君（共産）、近藤正道君（社民）、荒井広幸君（改ク） ※関連質疑

（平成二十年度補正予算）

賛成会派 民主、自民、公明、改ク

反対会派 共産、社民

○平成20年12月10日（水）（第6回）

— 集中審議（経済・社会保障） —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する調査のうち、経済・社会保障に関する件について麻生内閣総理大臣、舛添厚生労働大臣、河村内閣官房長官、二階経済産業大臣、中川国務大臣、金子国土交通大臣、石破農林水産大臣、小淵内閣府特命担当大臣及び参考人日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

円より子君（民主）、※中村哲治君（民主）、※那谷屋正義君（民主）、市川一朗君（自民）、荒木清寛君（公明）、山下芳生君（共産）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改ク） ※関連質疑

○平成20年12月24日（水）（第7回）

- 予算の執行状況に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。